

平成16年度動物愛護管理功労者大臣表彰の受賞候補者

個人

受賞者	あおき もりこ 青木 守子（63歳） 新潟県長岡市
主要功績	「捨猫防止協会・長岡」の設立及び運営において中心的な役割を果たすとともに、野良猫の不妊手術の普及・支援などの地域に密着した実践的な活動を行い、猫の適正飼養の推進にめざましい効果を上げる等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	ひがしで よしひろ 東出 義弘（75歳） 石川県金沢市
主要功績	石川県獣医師会の会長等として、学校飼育動物の適正飼養の推進等において中心的な役割を果たすとともに、関係行政機関等と連携を図りつつ、家庭動物の適正飼養の普及啓発等に尽力する等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	はやし いちろう 林 一郎（68歳） 長野県松本市
主要功績	いわゆる「地域ねこ活動」の実施などの地域に密着した実践的な活動を献身的に行うとともに、犬の適正飼養講習会の開催や特別養護老人ホーム等における動物とのふれあい活動の実施に尽力する等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	やまうら いさむ 山浦 勇（74歳） 長野県上田市
主要功績	犬猫の不妊手術に対する自治体の助成事業の創設及び運用について献身的な協力活動を行い、保健所等における犬猫の引取り数の減少にめざましい効果を上げるとともに、犬の適正飼養講習会の開催に尽力する等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	うえはら せいお 上原 誠夫（77歳） 長野県佐久市
主要功績	長野県動物愛護会佐久支部の設立及び運営において中心的な役割を果たした。また、犬の飼養に関する相談・指導等をボランティアで行う「佐久家庭犬クラブ」の組織化に尽力するとともに、自らも同活動を献身的に行う等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	かわい みきお 河合 幹夫（65歳） 岐阜県大垣市
主要功績	負傷動物の救護活動を推進するため、岐阜県獣医師会における「動物を守る会」の組織化に奔走するとともに、自らもボランティアとして負傷動物の保護や治療活動を献身的に行う等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	まつだ さなえ 松田 早苗（65歳） 兵庫県神戸市
主要功績	阪神淡路大震災における被災動物の救護活動において中心的な役割を果たすとともに、（社）日本動物福祉協会阪神支部副支部長として不妊手術の普及や虐待防止調査の実施等の実践的な活動を献身的に行う等、長年にわたり動物愛護と適正な飼養等に関して貢献。

受賞者	いまはた としこ 今畠 トシ子（66歳） 兵庫県西宮市
主要功績	私財を投じて、（社）日本動物福祉協会の動物救護センターの整備に先鞭をつけるとともに、同施設の管理責任者として、遺棄された家庭動物等の保護収容・再飼養支援活動を精力的に行う等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養の普及啓発に関して貢献。